平成25年10月4日

村上　出海

議事録

1. 日時：平成25年11月29日　11:10～12:45
   1. 場所：船橋情報ビジネス専門学校
2. 参加者：村上 出海(プレゼンター)、青山 直樹 (オペレーター)、

安達 林太郎、翠田 葵、田中 宏昌

1. 発表内容：(１)システム導入に至った経緯

(２)システム画面と機能説明

(３)今後の開発予定

1. 質疑応答の内容

石井先生　開発状況が遅れていることに関する対策

→model作成が難航しているが日実には間に合う予定。

６．発表の講評

スタートがドタバタして遅れたが、資料配布はスムーズに行われており、焦りがある中でのトップバッターだったと思うか、発表自体は落ち着きがあった。

　改善点は、プレゼン当日になって成果物が動かないなどの準備不足、照明のチェック不足、発表の際にスライドばかり見ていた。

（石井先生）

　質問の相談時に聞いてる人にお尻を向け相談していた。配布資料の使用フォントが統一されていなかった。ボタンの配置が分かりにくいところがあったので、ユーザーインターフェイスについて再度確認したほうがいい。システム導入の前と比べて何が便利になったかPRしたほうがいい。遅刻は絶対にしてこない。

（田邉先生）

平成25年10月4日

村上　出海

７．所感,振り返り

　プログラムの設計書など他の作業で忙しく、プレゼンターの負担が大きかった。

仕事の配分を考え、それぞれが協力し合って出来る作業環境を作っていきたいと思う。

(安達)

事前準備がちゃんとできておらず、スムーズにできずに終わった。次回は自身がプレゼンタ―なのでそれを意識しながらできるようにしたい。

(翠田)

プレゼンターへのフォローが疎かになってしまい、オペレータの自分とプレゼンターの連携が全然できていなかった。

次の最終プレゼンでは、配布資料の作成を手伝うなどをしてフォローしていこうとおもいます。

(青山)

完全な練習不足がめだった。スライドも前回の使いまわしが多く、目立った変化が

見られないプレゼンテーションになってしまっていた。最終プレゼンではデモをメインに

動きのあるプレゼンにしたい。

(田中)

　プレゼン自体はあまりうまくいかなかった。この経験を社会に出た後も生かしていきたいです。また、オペレーターとあまり話し合うことができていなかったのでちゃんと報連相を守っていこうと思いました。

(村上)

８．次回に向けた改善案

今回の最大の改善点はプレゼンターとオペレーターとの連携であると思います。

これは時間が無かったとしか言えませんがその少ない時間でいかに話し合うかが大切こと身に染みました。

次のプレゼンからはチーム全体の連携を良くしていこうと思います。